

エアフィルタ 取扱説明書

1.仕 様

配管接続口	PF1/4メネジ
使用流体	空気
耐圧力	0～0.7MPa
周囲温度範囲	5～60℃

エアライン中の固形不純物（ゴミ）や水分（ドレン）を取り除く目的で使用されるもので、コンプレッサとツールの間に設置して、ツールを保護します。ツールに直接つけるか、ツールに近い所へ設置するほど効果的です。

2.概要

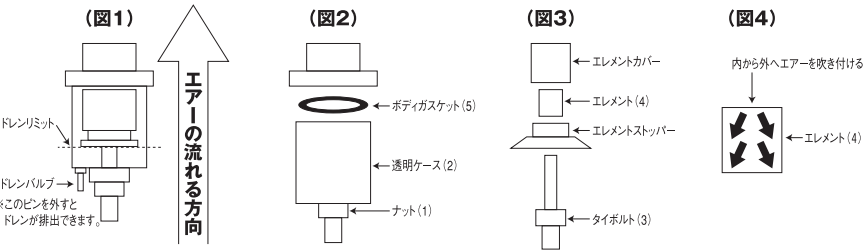
- 取り付け方向は、エアフィルタ本体上部のアルミキャップ方向に空気が流れるようにしてください。
※内部構造として、空気圧はフィルタエレメント（ろ過材）の外部から内部へと流れるようになっています。

3.取り扱い

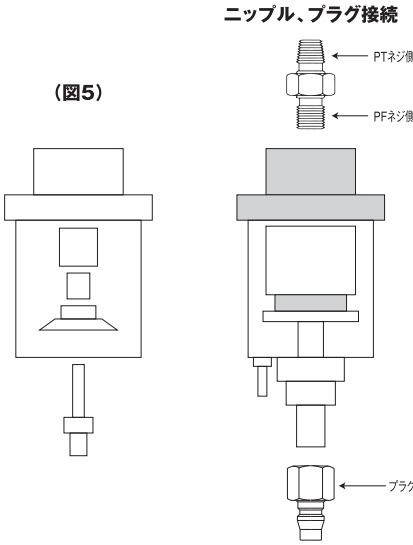
- 取り付け姿勢は必ずドレンバルブが下になるようにして下さい。（横向けや、斜めに取り付けないでください。）
- 取り付け位置は圧縮空気の温度が低くなる所で、また、管路の低い所としてください。
- 取り付け場所は、直射日光・熱源の近く・有害な化学薬品などの雰囲気中のある所は避けてください。
- 保守点検に便利のように周囲に余裕空間を設けてください。
- 空気流速が極端に遅い時はエアフィルタの機能が低下します。使用条件を本機接続口に合わせてご使用ください。
- 配管の前には配管内を十分にフラッシングして、固形物やシールテープ破片が入らないようにして下さい。
- ドレン排出は定期的に行い、ケース内の停滞物を排出してください。透明ケース最下端のドレンバルブのピンを押しますとドレン排出が出来ます。（図1）

4.メンテナンス

- （注意）ドレンがフィルター位置以上に溜まりますと、エアフィルタの機能が失われますので、早い目に排出して下さい。（図1）
- 取り付け後6～12ヶ月に一度は分解して、良好なコンディションを維持してください。本体への入力圧力と本体からの吐出圧力との差が0.3MPa程度になりますとエレメントの洗浄が必要となります。
 - 分解方法はまずライン圧力を停止し、ドレンを排出し、透明ケース下のナット（1）を下から見て左に回してください。タイボルト（3）が外れ、透明ケース（2）を取り外すことが出来ます。



- 部品洗浄の際は、金属部品についてはシンナーやトリクレンなどの溶剤を用いられてもかまいませんが、金属製以外の部品については鉱物性の軽油で洗浄してください。エレメント（4）は洗浄再使用が可能です。清浄なエアをエレメント内部から外部へ吹き付けてフラッシングして下さい。（図4）
- 組み立ては、分解時と逆の手順で丁寧に組み立てて下さい。ボディガスケット（5）正しく所定の位置にあることを確認の上行ってください。（図5）



この商品には、PF1/4（配管平行ネジ）が上下に接続できるようになっています。本体下部に、エアーを接続する際は付属のプラグを併用すると便利です。

また、本体上部もPF1/4（配管平行ネジ）のメスネジが切っており、ます。スプレーガンや、ダスターへの接続にはそのまま接続いただけます。また、その他のエアーツールでPT1/4（配管用テーバーネジ）が必要な際は、付属のニップル（片方が平行、片方テーバー形状ネジ）を併用して下さい。

5.注意

- 人為的な衝撃・曲げを加えないで下さい。
- 表記している使用圧力以上のエアー圧で使用しないで下さい。
- 流体は空気のみをお願いします
- 取付の際は、ネジ部の清掃を行って下さい。異物があるとネジを痛める恐れがあります